

令和4年度 第2回入札監視委員会〔議事概要〕

1. 開催日時 令和5年3月17日（金） 午前10時から

2. 開催場所 熊取町役場 北館3階 大会議室

3. 出席者 委員：3人（全員）
事務局：総務部長、総務部理事、総務課長
総務課総務・契約検査グループ副主査、総務課職員

4. 議題

〈報告案件〉（1）令和4年度下半期（R4.8.10～R5.1.26）の入札・契約状況等について
（2）入札参加停止措置の状況について

〈審議案件〉（3）抽出事案に関する入札及び契約の処理状況について〈審査〉

〔指名競争入札3件、制限付一般競争入札1件〕

①準用河川見出川管理用通路他除草工事（R4-2） 〔指名競争入札〕

②熊取町立西小学校雨漏り等改修工事調査業務 〔指名競争入札〕

③熊取町立総合保健福祉センター空調設備更新工事設計業務 〔指名競争入札〕

④（仮称）熊取町公民館・町民会館整備工事 〔制限付一般競争入札〕

〈その他〉 入札・契約に関する情報提供等
〔令和4年度建設工事契約状況について〕

5. 公開・非公開の別 非公開

非公開の理由 本会は、審議会等会議公開指針第3条第1項第2号に該当し、入札監視委員会規則第6条第5項（委員会は、非公開とし、委員会の議事概要は、これを公表する。）により、非公開とします。

6. 審議等の概要

〈報告案件〉

- (1) 令和4年度下半期（R 4. 8. 1 0～R 5. 1. 2 6）の入札・契約状況等について
- ・ 下半期に入札執行した指名競争入札 23 件（建設工事 20 件、コンサルタント業務 3 件）、制限付一般競争入札 1 件の執行状況を説明。

主な意見・質疑
質疑なし
回答・説明

- (2) 入札参加停止措置の状況について
- ・ 下半期（R 4. 8. 1 0～R 5. 3. 8）の入札参加停止業者の措置状況について説明。

主な意見・質疑
1. 課徴金減免制度について、措置の期間が半分になるとは具体的にどういうことか。 2. 業者が営業停止処分を受けていることをどのようにして把握しているのか。
回答・説明
1. 公正取引委員会の調査を受けた際に、自ら申告した業者は課徴金減免制度の適用を受け課徴金が軽減される制度が設けられており、入札参加停止要綱において、その制度の適用を受けた場合には入札参加停止措置期間を短縮する規定を設けている。 2. 大阪府のホームページで報道提供として公表される「入札参加資格者の入札参加停止について」を確認している。また、近隣市町や新聞報道により情報収集をしている。

〈審議案件〉

- (3) 抽出事案（4 件）に関する入札及び契約の処理状況について〈審査〉
- ・ 各案件について工事概要、業者選定方法、入札経緯、入札結果等を総括的に説明。

①準用河川見出川管理用通路他除草工事(R 4－2)〔指名競争入札〕

主な意見・質疑
1. 造園の入札は指名辞退が多いことや手持ち工事があることで、限られた業者の中からくじ引きで決定をすることになるが、他に方法はあるか。また、予定価格での応札は作業内容によるものか。 2. 経審が未提出でも選定業者の一覧に挙がってくるのはなぜか。

回答・説明
1. 草刈り工事は夏場に発注が集中するため、手持ち工事がある業者も多く選定の対象外となることで選定の対象となる業者数は限定される状況にある。対応策としては、複数の除草工事を組み合わせ発注件数を抑える方法も考えられるが、請負額が高額となり作業期間が長くなるため、予定価格としては概ね 500 万円以下と考えている。今回の件は、河川の管理用通路で作業効率を考慮し、予定価格での応札になったと考えられる。 2. 入札参加資格審査申請の時点で有効な経審において入札参加資格者として業者登録を行うが、経審の有効期間が切れた業者は未提出の状態となり、業者選定の対象とはしない。 なお、有効な経審が提出された場合は、直近の業者選定委員会に諮り、承認後に入札参加が可能となる。

②熊取町立西小学校雨漏り等改修工事調査業務〔指名競争入札〕

主な意見・質疑
1. 今回の案件と前回不調になった案件では、若干であるが予定価格が低くなっているのはなぜか。 2. 今回新たに選定された 19 者はなぜ前回是指名されなかったのか。 3. 選定された業者の多くが辞退等を提出しているのは、金額の問題か設計内容の問題か。
回答・説明
1. 若干設計内容を見直し、別業務の案件としている。 2. 前回の不調時は、予定価格が 2,369,000 円であり、500 万円未満のコンサルタント業務で該当する等級別区分は C 等級で、対象となる者は 5 者のみであったため、上位等級の B 等級から 5 者を抽選で選定し 10 者としたもので、今回の選定業者は、前回の案件で選定されなかった B 等級の者を全て選定した。 3. 雨漏り調査は、原因が判明しづらいこともあり、足場を組み立てるなどの手間と人件費を要することが辞退の理由と考えられる。

③熊取町立総合保健福祉センター空調設備更新工事設計業務〔指名競争入札〕

主な意見・質疑
1. 大抵は落札率が 8 割前後であるが、本件の落札率が低い要因は何か。 2. 落札率が低いことは指名辞退等と関係はあるか。

回答・説明

1. 空調に特化した設計であるため、メーカーからの技術提供等の協力を得やすいことが一因と考えられる。予定価格に関しては、積算根拠を示しているが、最低制限価格は設定していない。
2. 指名辞退の多くは、業務多忙で技術者の配置が困難であるとの理由である。

④（仮称）熊取町公民館・町民会館整備工事〔制限付一般競争入札〕

主な意見・質疑

1. 最終的に応札したのが3者であるが、応札数が少なかった一番の大きなポイントは何か。
2. 金額面での辞退というのは人件費も含めた技術的なものか、資材的なものか、あるいは両方か。また、資格要件を緩和しても応札数は変わらなかったか。
3. 落札された業者は請負金額が15億の工事实績のない業者であるが、それ以外で応札した2者は15億の工事实績があるが、選ぶことはできないのか。

回答・説明

1. 金額面と、入札参加資格要件とした建築、土木及び解体の監理技術者を配置することが困難であったと考えられる。
2. 資材の高騰も考えられるが、監理技術者は工事の掛け持ちができないため、技術者不足も辞退の理由であると考えられる。また、資格要件を緩和することによる不履行の懸念も考慮しての資格要件とした。
3. 応札された中で最低価格を提示した業者が落札候補者となり、資格要件を満たせば落札者となる。資格要件を15億と設定した場合、応札者はさらに少数になることが考えられる。

〈その他、総括的な事項について〉

主な意見・質疑

1. 特になし

〈審議結果〉

1. 令和4年度下半期（R4.8.10～R5.1.26）の入札、契約の執行状況については、適正に処理されているものと認める。

〈その他〉

事務局からの情報提供等

①令和4年度建設工事契約状況について

7. 審議会の情報	名 称	入札監視委員会
	根拠法令等	附属機関条例 入札監視委員会規則
	設置期間	平成21年7月24日～
	所掌事項	建設工事並びにコンサルタント業務にかかる入札、契約の過程及び内容について審査し、入札及び契約事務の公正な執行審査に関すること。
	委員数	3人
8. 担当課	総務課	